

製造業のビジネスチャンスが見える  
モノづくり最新情報サイト  
じゃぱんお宝にゆ〜す  
<https://japan.otakaranews.com>

# じゃぱんお宝にゆ〜す

モノづくり現場の未来を見つける  
製造業応援サイト  
じゃぱんお宝WEB新聞  
最新情報満載！好評配信中！



## マパール EMO2023で最新動向発信

### “開発” “製造” “販売” “環境配慮” “資源保護” 革新ツールの持続可能な生産、供給に向け カーボンニュートラル推進で顧客・従業員・社会に貢献

#### 製品・技術で 社会に貢献する マパールの取り組み

マパール(MAPAL)は、9月にドイツ・ハノーバーで開催されるEMO2023に出展する。期間中はホール4、スタンドA18にブースを構え、自動車、航空宇宙、流体力技術、金型製造などの重点分野に加え、イノベーション2024、最近立ち上げたオンラインショップ、持続可能性のテーマにも焦点を当て来場者にアピールする。

#### EMO2023 見どころ満載 最新情報発信

マパールグループの最高技術責任者であるJacek Kruszynski(ヤチェク・クルシンスキー)氏によれば、同社はEMO2023でイノベーションに加え、他にも多数の最新ニュースを発信する。これはとりわけ、展示ブースの訪問者に提示され、現在ドイツとオーストリアのユーザーが利用可能な新しいオンラインショップを指す。このオンラインショップには、穴あけ、フライス加工、皿穴加工、クランプなどの製品が6,600点以上在庫されている。

ヤチェク・クルシンスキー氏は、「当社の顧客は、短納期、無料配送、最先端の店舗機能の恩恵を受けている」と説明する。「私たちは在庫の確保、配送の信頼性、配送速度というテーマに集中的に取り組んできました。とりわけ、オンラインショップで当社の対策の成功を示すことができうれしく思います」と述べる。

今回、マパールブースではさまざまな業界や用途向けの多数の加工ソリューションを展示する。電気駆動車両、航空宇宙、流体力技術、金型製造などのソリューションを含む自動車分野に焦



点をあてている。

その一方、マパールは今回のEMO2023にエネルギー効率、資源保護、安全性のテーマを考慮した革新的ツールとクランピングチャックを展示する。

「私たちは、できる限り持続可能な方法で行動するだけでなく、お客様と従業員の利益のために管理、生産、責任を負います。また、お客様に持続可能な生産への道において可能な限りのサポートを提供したいと考えています」とヤチェク・クルシンスキー氏は強調する。

#### EMO出展製品 イノベーション 深穴に焦点あてる

マパールは、EMO2023で深穴切削のNEWスタンダードとして、深穴に焦点を当てたドリリングとリーマ加工が可能な長さ比15×Dから40×DのMEGA-Deep-Drill-Steel(写真・左)を発表する。

ハイライトの1つは、鋼と鋳鉄の加工用に特別に設計した、最大40×Dの新しいMEGA-Deep-Drill-Steel製品範囲のディーブドリル。

超硬ソリッドディーブドリルは、刃先領域のHiPIMSテクノロジーによる革新的なコーティングで最適に保護されており、摩擦のない切りくず除去も保証する。MEGAディーブドリルスチールの残りの長さはコーティングされていないままになる。革新的な形状により、新しいディーブドリルは長い工具寿命と高い生産性を発揮する。こ



れまでの製品と比べ、最大50%高い送り速度を達成できる。

#### ろう付け刃先 円筒シャンクリーマ FixReam700

また、マパールはろう付け刃先を備えた一連の新しい円筒シャンクリーマをEMOで発表する。

FixReam700リーマの特長は、拡張システムによる高い操作性で、新しい刃先をろう付けする前に、工具を2回まで再研磨することができる。その後、工具を2回再研磨し、その後再び刃先を交換して工具をさらに2回再研磨することができる。したがって、1つのリーマには9つの工具寿命がある。

拡張機能のないツールに比べ、ツールコストを最大15%削減できる。

同製品は特許取得済みの新しい形状により、ユーザーは他の円筒シャンクリーマに比べ最大30%優れた真円度と円筒形状を実現でき、切りくず排出性も向上する。

#### アルミニウム 大量加工用 フライス工具

さらにマパールは、アルミニウム大量加工用の3つの異なるフライス工具(写真・右)を発表する。

マパールは、OptiMill-Alu-WaveとNeoMill-Alu-QBigを使用して、EMO2023でアルミニウム材料の大量機械加工向けの製品の全範囲を展示する。

「アルミニウム大量加工用の2つの



新しいフライス工具により、私たちは航空宇宙産業にも真のハイライトを提供します」とヤチェク・クルシンスキー氏は断言する。

超硬ソリッドで刃先交換式インサートを備えた2つのフライスカッターシリーズは、高性能機械での使用に特に適している。

マパールは、アルミニウム材料用の新しい超硬ソリッド荒削りフライスOptiMill-Alu-Waveにより、市場で入手可能な最速の機械の性能を最大限に活用し、毎分最大21リットルの材料除去速度を達成している。同時に性能の低い機械でも大量生産量のフライスを使用することもできる。したがって、工具メーカーは、航空機部品が40~80kWのスピンドル出力を備えた機械で製造されることが多いという事実を考慮している。これまでポートフォリオには適切なフライスがなかった。より大きな直径の場合、新しいNeoMill-Alu-QBig刃先交換式インサートフライスカッターは、非常に経済的なソリューション。毎分18リットルもの大量の処理を実現するために、新しいアルミニウム製ポリウムカッターは、最大35,000rpm(直径50mm)の速度で使用できるように設計されている。

NeoMill-Alu-QBigは切りくず量が多い場合でも、荒加工および仕上げ加工でRa0.8μmおよびRz4.0μmの表面仕上げを実現する。

(※資料提供：マパール)